

「奄美大島での日食報告会について」が開催されました

実施報告

日時: 2009年12月7日(月)13:10～13:40

場所: 東海大学湘南キャンパス
8号館3階プロジェクト会議室

司会: 岡田 工(チャレンジセンター准教授)

内容: 1. 奄美大島での日食報告会について
岡田 工(チャレンジセンター准教授)
2. 質疑



和歌山大学・学生自主創造科学センター(クリエ)について

岡田 工(チャレンジセンター准教授)

2009年12月4日(金)に奄美空港ターミナルビル(株)・大橋社長と奄美私立屋仁小学校・太田校長と会談し、観測会開催時の御助力に感謝の意をお伝えした。12月5日(土)にNPO法人・ポートタウンあまみが主催する日食報告会「海から見た奄美・皆既日食を体験して」が開催された。小学生から一般まで50名程度の奄美市民が参加した。東海大学からは岡田喜裕教授・比田井昌英教授・岡田工准教授が参加し、日食観測に関わる活動内容とその効果について次のような報告を行った。



奄美大島で行われた全天観測の様子や気象衛星ひまわりを用いた観測結果が報告され、ビデオ上映が行われた。また、日食が発生する仕組みや、奄美地域の気候と黒潮の関係性などについて説明があった。日食がもたらした影響としては、人口7万人の奄美大島に1万3千人の観光客が訪れ、約13.8億円の経済効果があった。この観測プロジェクトは、奄美の魅力を子どもたちに伝えることや、大学生と交流するといった点で、今後の奄

質疑

Q. 日食がもたらした教育的効果は？

A. 地元小学校の先生方や地域住民の方々の話によると、大学の先生や学生が来て講義をすることや会話をすることが子どもたちに素晴らしい影響をもたらしているという。現地ではこのような交流をもてる機会が非常に限られているので、今後も何らかのイベントをたびたび開催してほしいと期待されている。